

なお、昨年度及び本年度調査した結果4,928点を収録した「福島県古文書緊急調査報告Ⅰ」を刊行した。

③ 文化財基礎調査

ア 年中行事調査

最近伝統的な生活様式や風俗慣習が著しく変容しておりそのためにそれを基礎として成立してきた年中行事も変化し、あるものは衰微している現況から、昨年度から3年連続で県内全域にわたり家ごと、または集落ごとに行われている年中行事で、現在行われているもの、および廃絶したものでも内容のわかるものを対象に調査を行った。

本年度は昨年実施した1次調査の中から特に価値の高いと思われるもの9ヶ所を選んで詳細な現地調査を実施した。

○調査員 県文化財保護審議会委員 岩崎 敏夫

イ 工芸品調査

県内各地に現存する伝統的工芸品の実態を調査し、その保存を図るための基礎資料として昨年度から3年連続で調査を行った。

昨年は工芸品のうち、漆工品、木工品及び竹工品について1次調査を行ったが、本年度はこの中から価値の高い作品を選び現地調査を実施した。

○調査員

県文化財保護審議会委員 高瀬 喜左衛門

菊池 貴晴

会津若松市文化財調査委員 山内 清司

④ 各地方言収集緊急調査

近年のマスコミュニケーションの急速な発達によって方言は全国的に変化し、失われつつある。

方言は日本語の古い姿を残すとともに、地方の民俗や風土に密着して成立したものだけに、高い文化的価値を有している。

このため本年度から3年連続で調査を行った。

○調査内容 次の区分により録音採集を行い、文字化して共通語訳と注釈をつける。

1年次 老年層の話者による会話

○調査地区 福島市、会津高田町、昭和村、相馬市、いわき市 5地区

○調査員 主任調査員 福島大学教授 菅野 宏

調査員 福島大学助教授 渡辺 義夫  
同 同 高野 保夫  
地区調査員 会津高田町 大越 大雄  
同 昭和村 皆川伝三郎  
同 相馬市 新妻 三男  
同 いわき市 和田 文夫

⑤ 特別天然記念物カモシカ緊急調査

近年全国各地でニホンカモシカによる被害が発生し、社会問題となつてきている。本県においても福島市周辺で農作物に対する被害が発生しつつある。このような問題に対処し今後の保護管理を進めるためには、その分布、生態等について把握し、適切な対策を講ずる必要がある。

この調査は、全国的な調査の一環としてニホンカモシカの分布、生息実態について調査したものである。

○調査委託先

財団法人 日本野生物研究センター

○調査地域及び面積

①飯豊山系	西会津町	134.3平方キロメートル
	山都町	156.0
	熱塩加納村	156.5
	喜多方市	150.3
②福島市北西部		約 310.0

トル

○調査期間

①予備調査 昭和56年10月12日～14日

②本調査

飯豊山系 昭和56年11月5日～11日

福島北部 昭和56年11月12日～14日

○調査結果の概要

密度調査は区画法により実施したが、調査地域における分布域は、飯豊山系207.0平方キロメートル、福島市周辺462.0平方キロメートルとなっている。

生息頭数は飯豊山系で103土238頭、福島市北西部で620土480頭、福島県全域では3799土3159頭と推定される。

(3) 文化財保存の充実

① 文化財保存事業

ア 国指定

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額			
					総額	国	県	地元
建造物防災施設	願成寺	白水阿弥陀堂	重文	防災施設	千円 14,090	(70) 千円 9,863	千円 1,400	千円 2,827
"	八葉寺	八葉寺	"	"	6,069	(75) 4,551	500	1,018
美術品保存修理	願成寺	木造阿弥陀如来及脇侍立像	"	保存修理	4,910	(65) 3,191	570	1,149